

プレス・リリース

インフォシス、サーグッド・マーシャル大学基金 (TMCF) への 3 年間の投資を約束

TMCF とインフォシスは共同で、質の高い STEM 職種への歴史的黒人大学 (HBCU) からの
応募者を増やす仕組みを立ち上げ

米国インフォシス基金が TMCF の教員資質維持プログラムを支援、義務教育の STEM 教員志望者が
コンピューター・サイエンスとものづくり教育を授業に導入する過程を援助

ニューヨーク - 2021 年 11 月 17 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである[インフォシス](#) (NYSE: INFY) は、本日、黒人大学コミュニティを独占的に代表する米国最大の組織である[サーグッド・マーシャル大学基金](#) (TMCF) に対し 3 年間の投資を行うと発表しました。多様な人材の育成と採用に対する取り組みの一環として、インフォシスは歴史的黒人大学 (HBCU) の 卒業生パイプライン・パートナーの役割を果たし、少なくとも 1600 名の卒業予定者向けに面接とインフォシスでの就業の機会を創出します。さらに、義務教育の教員を対象としたコンピューター・サイエンス教育へのアクセスを広めるというミッションを掲げ、米国インフォシス基金は TMCF の教員品質維持プログラム (TQRP) が実施する 10 日間のサマー・インスティテュートの STEM スポンサーとして、黒人 STEM 教員の今後の能力開発に対し投資を行います。

「平等の文化の醸成は、ただ 1 人の人物、1 つの政府、1 つの会社だけに終始するものではありません。確実に進歩し続けるためには、志ある人々の連帯が必要です。TMCF とのパートナー契約締結は、エンゲージメントの文化を創造すべく同基金の組織が取り組む事業に対し、光を当てるすばらしい機会です。こうした活動は、アメリカ人の若者を将来の STEM リーダーとして育成するものです。インフォシスは、適切な人材が適切な役割に就くために、また一方で社会的地位の向上を図るためには、過去のやり方に委ねることはできないと認識しています。今回のパートナーシップを通じて、インフォ

シスはすべての人々に機会の平等をもたらす取り組みを新たにし、また米国の文化的構造との共通性を持つ働く人々のために努力してまいります」と、**インフォシス社長の Ravi Kumar** は述べています。

インフォシスと TCMF は卒業予定者に対し、インフォシスでのキャリア・トレーニングや就職あっせんに向けた機会を提供します。このプログラムでは TCMF の HBCU キャンパスとの連携と人材獲得チームを活用し、テクノロジーのキャリアに興味があり高度な分析的スキルを持つ学生を特定します。最終的に、学生はインフォシスでの就業に向けた面接の機会を得られます。また、インフォシスはキャンパスでの情報提供セッションを支援してプログラムを最大限に拡散し、最終的に 1600 名を上回る学生を、キャリア・プログラムを通じて動員することを目指しています。

最新の[データ](#)では、HBCU に対するこうした投資は米国経済に深いレベルで影響を及ぼすことが明らかになっています。HBCU は、自らの資産、経験、および文化的・歴史的な重要性を背景に、こうしたエンゲージメントを創造することで独自の評価を受けています。

サーグッド・マーシャル大学基金の社長兼最高経営責任者の Harry L. Williams 博士は次のように述べています。「今日のテクノロジー・リーダーが HBCU を卒業する人材を支持する 때가 きました。私たちは、HBCU はより平等な社会を創る力と人材を有していると考えています。私たちは熱心に活動しているのは、HBCU の持続可能性を確保し、その能力をさらに高めて継続的にトップの人材を輩出してもらうためです。そうしたトップクラスの人材は、ビジネスとその先のリーダーシップのあり方を一変させる準備ができています。未来の働く人々を変革する、多様な学生が持つ可能性をインフォシスが認識していることに感激しています。このような優れた学生の集団が、明日の企業リーダーやエキスパートになることは確実です。」

米国インフォシス基金は、TCMF が実施する [TQRP サマー・インスティテュート](#)への投資を行います。これは教員養成過程に在籍する義務教育の教員志望者を対象に、教育スキルの能力開発を行う一方で困難な教育環境で活躍するための能力を身につけさせる、10 日間のハンズオン・トレーニング・プログラムです。公式 STEM スポンサーとして、同基金は革新的なコンピューター・サイエンスとものづくり教育のリソースへのアクセスを提供します。こうしたリソースは Pathfinders



Online Institute のデジタル学習プラットフォームにあり、STEM 教員の幅広いコミュニティへのつながりを築く手助けになります。およそ 100 名がこのプログラムの参加者に選ばれており、おおむね 4000 名の義務教育の生徒に良い影響を与えると予想されています。

「この新しい取り組みを TQRP と共に立ち上げられることを大変喜ばしく思います。今、この国にはダイナミックで多様性を備えた教育者が必要です。統計からも明らかとなり、義務教育では自らの背景を教育の現場に反映させる教員から学んでいる生徒のほうが、教育的パフォーマンスは高いのです。TQRP のサマー・インスティテュートは、十分に声を聞き届けられていないコミュニティでの義務教育におけるコンピューター・サイエンス教育を促進するという、基金の価値観を反映する卓越したプログラムです。この度の新しいパートナーシップから生まれる影響が広まっていくことを楽しみにしています」と、**米国インフォシス基金のエグゼクティブ・ディレクターである Kate Maloney** は述べています。

TQRP プログラムの卒業生は、ニーズの高いコミュニティで教育を行う熱意を持った次の世代のリーダーです。これまで TQRP の受講者は、ニーズの高い、都市および地方の 31,000 名以上の義務教育の生徒に影響を及ぼしてきました。今後、TQRP と米国インフォシス基金のパートナーシップは、それぞれの職業能力開発リソースがもたらすシナジーの活用を目指し、受講者が義務教育の現場で次世代の STEM リーダーを育てる機会の創出と拡充を図ります。

インフォシスと TCMF は本日開催される [Infosys Americas Leadership Forum](#) でパネルディスカッションを実施し、今回のパートナーシップで期待される成果の詳細と産業界への影響を詳しく説明します。インフォシスの TCMF への投資と多様な人材の採用と維持に向けた取り組みについての詳細は、米国東部時間の午後 5 時 20 分から行われるイベントのライブストリーミングを https://youtu.be/iHcSXkYW_IA でご覧ください。

米国インフォシス基金について

米国インフォシス基金は、全米の義務教育の生徒と教員を対象に、コンピューター・サイエンスとものづくり教育を広めることを使命として、2015 年に創設されました。特に、十分に声を聞き届けられていないコミュニティへのアクセスを増やすことに焦点を合わせています。同基金は、教員向け職業能力開発プログラムの提供、社会をリードする非営利団体とのパート

ナレッジの結集、そしてテクノロジーの消費者に限らず誰もがクリエイターになれる革新的なメディア・キャンペーンを通じて、影響を実現しています。詳しい情報は、infosys.org/USA でご覧になれます。

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 50 か国でお客様のデジタル変革を実現しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NSE、BSE、NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長と今後の配当、財務的期待、当社の従業員、顧客およびステークホルダーへの COVID-19 の影響を管理するための計画を予測するものであり、そこには多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクおよび不確定要素としては、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素、その拡散を抑制するための政府およびその他の対策の効果、インド、米国、世界のその他の国々の景気低迷や不況に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済環境の変化、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。将来の営業業績に影響すると考えられるその他リスクについては、2020 年会計年度年次報告書 (Form 20-F) を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。当社は、米国証券取引委員会および株主への報告書内の情報を含め、書面または口頭で将来の展望を随時発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先:

インフォシス日本

マーケティング本部長 安藤 jo_ando@infosys.com

